



「自主・実践・友愛」

令和8年1月9日

野っ中だより

第10号



3学期の始まり・・・

例年になく暖かかった初冬から年明けとともに冬らしい寒さの中で3学期の開始を迎えた多くの笑顔が冷え込んだ校舎を温かくしてくれています。みなさんは、どのような気持ちで新しい年を迎え、どのような気持ちで3学期のスタートを切りましたか。昔からの言い伝えで「1月は往ぬる、2月は逃げる、3月は去る」と言われ、お正月から3月までは行事等も多く、あっという間に過ぎてしまうことを表しています。この、日数も少ない3学期ではありますが、みなさんが成長するきっかけはたくさんあります。まずは、今年度のまとめとして、これまでの自分自身を振り返り、小さな努力を積み重ねてきた「自分を褒めて」良かった所をさらに伸ばしていくことです。また、課題として残っている所があれば改善していくとよいですね。そして、1年生は野々市中学校での先輩となる準備を整えます。2年生は野々市中学校での最上級生として、学校全体をリードしていく準備を整えます。3年生は進路決定と野々市中学校を卒業することに向けて、さらに自己研鑽を積み重ねていきます。学年や各々によって、積み重ねる努力の内容は異なってきますが3学期を終業し、学年を修了する日に、また一段と成長した姿がたくさん見られることを楽しみにしています。自分の成長する姿をイメージしながら、

2026年のスタートをより良いものにしていきましょう。



笑う門には福来たる

いつも笑い声が満ち、和気藹々（あいあい）とした集団には、自然と幸福が巡ってくるものと思います。学校生活では、「学級」「生徒会活動」「部活動」等、様々な集団があります。どの集団においても、仲間を思いやり、仲間を尊重し、仲間との共感的な関係を築くことで、自然と笑顔になれる場面が訪れます。その笑顔が互いの心により温かな繋がりを生み出し「楽しい」と感じる瞬間が多くなります。「自分だけ」が楽しいのではなく、同じ野々市中学校に集う仲間とともに「楽しさ」を分かち合える集団や空間、瞬間を創っていきましょう。



地域の方からのお話です。

ある町内にある公園でお孫さんがボール遊びをしていたそうです。そこにやって来た野々市中の生徒数名がテニスの練習をさせて欲しいと丁寧に伝え、しばらく一緒に公園を使っていました。お孫さんのボール遊びが終わって帰宅していたところ、その野っ中生がわざわざ家を訪ねて来て、一緒に公園を使わせてもらったことの感謝の気持ちを伝えてくれたとのことでした。寒い冬にホッコリと心が暖かくなったと喜んでいらっしゃいました。